



## ガリガリ君 E-mail 通信

令和5年3月(第173号)  
年度末特集号

下水道既設管路耐震技術協会

今年度もあと一月となりました。今月号では地震のニュースの他、労務単価・積算基準の改訂、総会、講習会・研修会など、来年度に向けての動きや予定をご紹介します

### ○ トルコ・シリアで大地震が発生

2月6日現地時間午前4時17分に、トルコ南東部とシリア国境付近を震源とするマグニチュード(M)7.8と7.5の地震が立て続けに発生し、その後M6.7と5.6の余震もあり、これまでに5万人以上の犠牲者が発生しています。

トルコは2つの大きなプレート(アナトリアプレートとアラビアプレート)がぶつかり合い、地震の非常に多い国です。日本ではプレート境界型の地震は主に陸地から離れた海溝付近で発生しますが、トルコでは「プレート境界型地震」が都市の真下の「直下型地震」が同時に発生したような状況で、このため甚大な被害を生じました。

さらに被害を大きくしたのが、違法建築物です。トルコの建物の60%は無許可、無届の違法建築物で、安全基準を満たさない建築物も税金を払うことで見逃されるため、地震の多い国でありながら、多くの建物は耐震性が十分に考慮されておらず、このような大きな被害が生じたようです。



図一1 トルコ・シリア地震断層図  
(NHK 報道よりの転載)

トルコ・シリア地震被害に対し、本協会は2月20日日本赤十字社を通じて義援金10万円を贈りました。

### ○ 釧路で震度5弱の地震発生

2月25日22時27分頃、釧路沖を震源とするM6.0の地震が発生し、北海道の標津町、根室市で最大震度5弱を記録しました。この地震では大きな被害は出なかったようですが、この1年間に日本国内では、何らかの被害が生じる震度5弱以上の地震が14回発生しており、M6は令和4年3月16日の福島県沖の2度の地震(M7.4、6.1)に次ぐ3番目に大きな地震規模となります。

この他、昨年6月に2回の震度5弱以上の地震が発生した能登地方、特に珠洲市では、2月26日の震度3をはじめとして小規模な地震が頻発しており、引き続き注意が必要な状況です。

## ○ 令和5年度公共工事設計労務単価が公表されました

2月14日、「令和5年3月から適用する公共工事設計労務単価について」が公表されました。本単価は、国土交通省が令和4年度に実施した公共事業労務費調査に基づき定められたもので、令和5年3月から適用されます。

今回の改訂内容としては、労務単価が全国全職種単純平均で前年度比5.2%引き上げられ、必要な法定福利費相当額を加算した平均値で22,227円となり、11年連続での引き上げとなります。

今回の改訂のポイントは次の3点です。

- ① 最近の労働市場の実勢価格を適切・迅速に反映し、47都道府県・51職種別に単価を設定
- ② 必要な法定福利費相当額や義務化分の有休休暇取得に要する費用のほか、時間外労働時間を短縮するために必要な費用を反映
- ③ 元請企業から技能者に対して直接支給している手当を反映

主要12職種の単価を見ると、前年度に対し、交通誘導警備員、軽作業員等、単価の低い職種の改定率が高く(6~7%)になっており、職種間の開きが小さくなっています。また地域別では、普通作業員の単価で比較すると、関東、北陸、中部地方が高く、中国、九州が低くなっており、一番低い島根県が一番高い東京都、神奈川県の0.72と大きな開きが生じています。

また注意事項として、労務単価には、事業主が負担すべき人件費(必要経費分)は含まれていないため、下請代金に必要な経費分を計上しない、又は下請代金から値引くことは不当行為であることが明記されています。

詳しい内容は、国土交通省のホームページをご覧ください。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi\\_fudousan\\_kensetsugyo14\\_hh\\_000001\\_00130.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo14_hh_000001_00130.html)

## ○ 積算基準が改定されました

2月28日、国土交通省より“時間外労働規制の適用への対応”と“円滑な施工体制の確保”などを踏まえた、「令和5年度国土交通省土木工事・業務の積算基準等の改訂」が公表されました。4月1日以降の入札案件から適用されます。

“時間外労働規制の適用への対応”に関する主な改定点は次の3点です。

- ①直轄土木工事の週休2日の「質の向上」に向けて
  - ・施工計画書への休日の記載や実施状況の確認を共通仕様書に記載
  - ・天候等を考慮した工期設定のさらなる適正化 等
- ②時間外労働規制の適用への対応として、
  - ・準備や後片付け等に要する時間を分析し標準歩掛に反映
  - ・資材基地からの移動時間を考慮した積算に向けた多角的な検討
  - ・熱中症対策の充実として、工事積算における工期設定に猛暑日を考慮し、増加費用についても積算で対応

特に、②については本協会も発注者に対し継続的に要望している内容であり、自治体レベルでの早い対応が望まれるところです。

詳しい内容は、国土交通省のホームページをご覧ください。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08\\_hh\\_000944.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000944.html)

## ○ 第27回「震災対策技術展」へ出展しました

2月2日～3日の2日間、「パシフィコ横浜」Dホールで開催された第27回「震災対策技術展」に出展し、パネル展示、簡易液状化実験、パンフレット配布を行いました。

今回の出展が決まったのは開催の1週間前のため、ブース内の飾り付けや照明設備は無く、「3工法の紹介パネル」と「管路耐震化の必要性の紹介パネル」の4枚の展示と「簡易液状化実験装置」を置いただけのやや寂しい展示内容となりました(写真-1)。

2日間の総来場者数は1万人で、このうち協会ブースへは近隣市の下水道職員やコンサルなど下水道事業関係者の他、商社、自治会関係者、メーカーなど幅広い分野の来訪者があり、異分野の来訪者へ下水道管路施設の耐震化事業を紹介することができました。



写真-1 震災対策技術展協会ブース

## 協会からのお知らせ

### ○ 定時総会の日程が決まりました

令和5年度第22回定時総会を、下記の日程・会場で開催いたします。

日時	令和5年4月25日(火曜日)
	総会 16:00～
	懇親会 17:30～

会場 銀座東武ホテル  
東京都中央区銀座6-14-10

協会員および関係者の皆様には、後日改めてご案内状を送付させていただきます。



写真-2 昨年度の総会開催状況

### ○ 運営委員会、品質確保委員会が開催されました

本年度最後となる第6回の運営委員会と品質確保委員会が、2月15日に東京都下水道サービス銭瓶町ビルディングで開催されました。

今回の審議内容は以下の通りです。

#### 1 運営委員会

- (1) 東京都との意見交換会について
- (2) 第22回定時総会議案書(案)について
- (3) 下水道展 '23 札幌への出展について
- (4) 日本地震工学シンポジウムへの出展について
- (5) 第22回定時総会・懇親会の司会進行について
- (6) トルコ・シリア地震被害に対する義援金の拠出について

## 2 品質確保委員会

- (1) 開発者の取り組みについて
- (2) 安全パトロールの実施結果について
- (3) 「市町村下水道情報交換会」耐震工法の説明について
- (4) 「新潟県糸魚川市管路設備調査協会勉強会」耐震工法の説明について
- (5) 令和5年度施工管理者講習会及び施工技術者研修会の募集について

### ○ 令和5年度施工管理者講習会・施工技術者研修会の受講申し込み受付中

現在、令和5年度の施工管理者講習会及び施工技術者研修会の受講者調査を行っています。来年度の管理者講習会の会場は、今のところ東京、名古屋、福岡の3か所を考えております。申し込みの締め切りは3月3日(金)ですので、本年度の受講を希望する会員は至急手続きをお願いします。

申込資料は、令和4年度の会員名簿の連絡担当者宛に、2月1日(水)にメールにて送信していますので、よろしくお願いいたします。

なお、2月27日(月)現在の申し込み状況は、下記のとおりとなっています。

#### ○ 施工管理者講習会

##### 1) 既設人孔耐震化工法(ガリガリ君)

- |        |                   |     |
|--------|-------------------|-----|
| ・東京会場  | 5月16日(火) ホテルラングッド | 69名 |
| ・名古屋会場 | 日程・会場未定           | 21名 |
| ・福岡会場  | 日程・会場未定           | 7名  |

##### 2) 耐震一発くん

- |             |         |    |
|-------------|---------|----|
| ・草加新里文化センター | 日程・会場未定 | 2名 |
|-------------|---------|----|

#### ○ 施工技術者研修

- |                    |      |     |
|--------------------|------|-----|
| ・熊谷会場(日本ヒューム熊谷工場)  | 日程未定 |     |
| 既設人孔耐震化工法(ガリガリ君):  |      | 17名 |
| フロードレス工法:          |      | 20名 |
| ・谷塚会場(株)メーシック谷塚事業所 | 日程未定 |     |
| 耐震一発くん:            |      | 5名  |

ご不明の点がございましたら、協会事務局(担当 荻原(オギワラ))までお問合せ下さい。

TEL03-3437-6454

### ○ 会員名簿記載事項調査を行います

令和5年度会員名簿の作成にあたり、記載事項の変更の有無を調査いたします。

変更のある場合は、お送りする調査票の記載事項を修正のうえ、FAXまたはメールにて事務局に3月17日までに返送をお願いします。

### ○ 今月の予定

3月11日(土) 東日本大震災から12年目を迎えます。この時期各地で防災訓練等の関連事業が予定されています。

#### 編集後記

・コロナに関する報道も少なくなり、街の様子も完全にコロナ前の状況に戻ってくる一方、ウクライナ情勢は解決の糸口が見えないまま1年を経過してしまいました。これまで、国際的な紛争とは無縁と思っていた私たちの生活が、如何に世界情勢に左右されているかを思い知らされた1年でもありました。

・トルコ・シリアの大地震は、発生から一月近く経った現在も復興への道筋が見えない状況にあります。本協会も、被災者の方々の支援に少しでもお役に立てるよう、少額ではありますが義援金を送らせていただきました。世界の各地で大きな自然災害が1年に何回かずつ発生しており、これらの災害に対し各国が協力して対応できるような恒常的な支援体制が構築できないものかと思えます。

#### 今月の写真 — 蜘蛛の巣に覆われた空

・今月の写真は、東京近郊の住宅地の光景です。地震時には道路上の電柱が倒れ、被災者救助や消火活動の大きな妨げとなることが危惧されています。このため、緊急輸送路や避難道路などの電柱地中化を優先して進めているところです。その一方、住宅地の電柱に張り巡らされる電線や通信線の数は増える一方で、災害時にこの道を通って避難場所や避難道路までもたどり着けるのか心配な状況です。智恵子は「東京には空が無い」と言いましたが、電線通信線のみならず高層ビルに覆われた現在の都市にはますます空が無くなってきており、空を見るためには安達太良山に登るように、高いお金を払って高層ビルの屋上まで登らなければならない時代となっています。